

解 答 速 報

久留米大学医学部医学科(生物) 2026年2月1日(日)実施 一般入試

1	問 1	③	問 2	①, ②, ③	問 3	0.75
	問 4	中心体	問 5	④	問 6	①
	問 7	気管支の上皮細胞は繊毛運動によって異物を体外に排出している。				
	問 8	③	問 9	①	問 10	③ (④も可)
	問 11	グループ名 オピストコタ	原生生物の名前 えり鞭毛虫			

2	問 1	A, C, D				
	問 2	陥入が反対側に貫通しないため、原口が消化管の唯一の開口部となり、口と肛門を兼ねている。				
	問 3	環形動物 D, L	線形動物 I	節足動物 B, F, H, K		
	問 4	胚葉 中胚葉	胚葉から生じるもの C, F, H			
	問 5	B, D, E		問 6	A, D	

3	問 1	(ア) b	(イ) d	(ウ) g
	問 2	(1) 輸尿管	(2) ネフロン(腎単位)	(3) 糸球体
		(4) ボーマンのう	(5) 腎う	(6) ぼうこう
		(7) 尿道	問 3 1.1 mL	問 4 D
	問 5	バツルシン		
	問 6	尿量は減少し、色は濃くなる。		
	問 7	(1) A	(2) C	(3) C
	問 8	名称 鉍質コルチコイド	分泌する器官 副腎(副腎皮質)	標的器官 腎臓

4	問 1	(ア) プライマー	(イ) DNAポリメラーゼ	(ウ) ヌクレオチド
	問 2	体細胞には、両親に由来する相同染色体が存在するが、それぞれの遺伝子座 A の反復回数が異なったため。		
		計算式 $2 \times 0.267 \times 0.2211$	出現頻度 $0.118 (1.18 \times 10^{-1})$	問 3 $6.55 \times 10^{-10} \% (6.55 \times 10^{-12})$

問題量に大きな変化はなかったが、発展的な知識を問う問題が多く出題されたため、大きく難化したと言える。大問1の微小管の9+2構造や大問2の真体腔やはしご形神経系など、旧課程では扱いがあつたものの、現行の教科書に記載のないものが多く出題されており、一般的な受験生では正誤の判断がつかないものが散見された。計算問題もやや煩雑なものが多かった。血しょうの割合55%などの細かな知識を前提としており、これらも含めて全体的に難度の高い入試問題となっている。